

「長久手市一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理基本計画（案）」についてのパブリックコメント実施結果について

長久手市一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理基本計画（案）を策定するにあたり、市民のみなさまからご意見をいただくため、パブリックコメントを実施しました。

その結果を次のとおり公表します。

1 意見募集案件名

長久手市一般廃棄物（ごみ・生活排水）処理基本計画（案）

2 募集期間

令和6年2月1日（木）から令和6年3月4日（月）まで

3 閲覧場所

市役所北庁舎1階環境課窓口、市役所西庁舎1階情報コーナー、地域共生ステーション、まちづくりセンター、市ホームページ

4 募集結果

1名 2件

5 提出された意見の要旨及び意見に対する市の考え方

	該当頁	意見の要旨	市の考え方
1-1	4 5 頁	植木鉢や絵具セットなど多くのプラスチック製の学用品を小学校で斡旋されます。今後裁縫セットや書道道具も買わされる予定です。数年しか使わない、あるいは授業でしか使わない利用頻度の低い物を各生徒に所有させるのは反対です。学校備品で用意してください。SDGsにつながると思います。	本計画では、主要成果指標として「1人1日あたりの家庭系もえるごみ排出量」、成果指標として「1人1日あたりの家庭系ごみ（資源除く）排出量」を掲げ、ごみの減量を目指しています。 プラスチック製品を資源として回収できるよう検討を進めるとともに発生抑制の視点を持って取組を進めます。
1-2		入学時に頂いたビニル製のランドセルカバーや交通安全バッジも耐久性が低く、残念ながら1年持たずゴミになりました。お金を使って本当に配る価値があるのでしょうか。	いただいたご意見は、関係部局と共有するとともに、今後のごみ減量施策の参考とさせていただきます。
1-3		プラスチックごみではありませんが、体操服が各学校でデザインが違うのはリユースしづらいです。共通化すれば服のゴミも減ると思います。	
2		肉や魚の対面販売で、自分で容器を持参すると衛生面を理由に断られてしまうことが多いです。量り売りで販売するとき、容器の持ち込みを許してくれると、包装ごみも減ると思います。野菜や果物もビニル袋に入ったものばかり売っています。例えば、あぐりん村などで試験的に量り売りやばら売りのコーナーを設けてはいかがでしょうか。	前述のとおり、本計画ではごみの減量を目指しております。 様々な市の施策において、ごみ減量の視点をもって取り組めるよう働きかけていきます。 いただいたご意見は、関係部局と共有するとともに、今後のごみ減量施策の参考とさせていただきます。